

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年07月26日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年07月15日
明治大学卒業予定年月	2026年03月
留学先大学について	
留学先国	イタリア
留学先大学	ヴェネツィア大学(日本語名) Ca' Foscari Universita di Venezia(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	イタリア語 / 英語
留学期間	2023年09月～2024年07月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月上旬～1 月下旬 2 学期: 2 月下旬～6 月下旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	約 2 万人
創立年	1868 年

## 留学費用

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	日本円	備考
授業料		円	明治大学の学費のみ
宿舍費	月 600€	約 9 万円	
食費	月 120€	約 3 万円	
図書費	100€	約 1 万 5 千円	言語の教科書のみ購入
学用品費		円	
携帯・インターネット費	初期料 30€, 月 9€	月 2 千円	
現地交通費	月 25€	約 4500 円	買わない月もありました( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	約 300€	約 5 万円	冬服を主に買いました
医療費	0	0 円	日本から持参した薬で事足りました
保険費		約 16 万円	形態: 明治指定の旅行保険
渡航旅費		約 30 万円	往復の航空券代
ビザ申請費	100€	約 1 万 5 千円	ビザは無料だが、イタリアの滞在許可証は有料
雑費	約 500€	約 7 万円	日用品
その他	約 400€	約 6 万 5 千円	交際費
その他		円	
合計	約 9000€	約 150 万円	

## 渡航関連

### 渡航経路

往路 出発地:羽田空港 目的地:ヴェネツィア マルコポーロ空港 経由地:ドバイ交際空港

復路 出発地:ミラノマルペンサ空港 目的地:羽田空港 経由地:ドーハ・ハマド国際空港

### 渡航費用

① 往復チケットを購入した場合  
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合  
往路 航空会社:エミレーツ航空 料金:17万円

復路 航空会社:カタール航空 料金:13万円 ∴合計:30万円

### 航空券購入方法

旅行代理店(店名: )

インターネット(サイト名: Trip.com)

その他( )

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

学生寮(寮の名前: Residenza Universita Gesuiti)  アパート  ホームステイ

2) 部屋の形態

個室  相部屋(同居人数 1人)

3) 共有部分

バス  トイレ  キッチン( 自炊可  自炊不可)

4) 住居を探した方法:

大学の Housing Office に掲載されている寮から選び、寮に直接メールを送った。

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

建物が古く、最初は抵抗感がありました。部屋によってはバス・トイレも男女で共有する場合があります。しかし、寮で出会う人たちがみんないい人たちだったので1年間楽しく過ごすことができました。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

ヴェネツィアは比較的安全なので、身の回りの物を取られないように注意する程度の防犯意識でした。旅行で大都市に行く際には、鍵をつけたり、スキミング防止のポーチにクレジットカードやパスポートを入れるなどの工夫をしました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

イタリアは建物内はインターネットが繋がりにくいです。それ以外は不自由なく使えました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地での銀行口座開設はせず、日本の銀行に繋いだクレジットカードを利用していました。お金が足りなくなった際に、親に振り込んでもらいました。キャッシュレス化が進んでいるので、現金が必要な場面は少なかったです。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本の薬・調味料など

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
42単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 現地の単位で 30 単位	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Hirtory of Venice	ヴェネツィアの歴史
科目設置学部・研究科	SIE
履修期間	1st Semester
単位数	6 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回
担当教授	SCURO Rachele
授業内容	中世から近代にかけてのヴェネツィアの歴史
試験・課題等	レポート提出と口頭試験
感想を自由記入	日本の講義のような講義スタイルだった。初めて言語以外の口頭試験を体験出来て良かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to the Italian Language A; Communication and Culture	イタリア語
科目設置学部・研究科	SIE
履修期間	1st Semester
単位数	6 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	GEMMANI Lucia
授業内容	イタリアの言語・文化について
試験・課題等	期末の筆記試験
感想を自由記入	もう一つのイタリア語の授業とセットの授業だった。イタリア語の授業では文法を、この授業では文化的側面を学んだ。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Modern and Comptemporary History	近現代史
科目設置学部・研究科	Philosophy, international and economic studies
履修期間	1st Semester
単位数	12ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が3回
担当教授	PETRI Rolf
授業内容	ヨーロッパを中心とした近現代の世界史
試験・課題等	レポートの提出とオープンクエスチョンの筆記試験
感想を自由記入	高校の世界史よりもより深い内容だった。植民地主義やジェンダーの思想ができた経緯なども学ぶことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Food&Beverage Management	飲食マネジメント
科目設置学部・研究科	Hospitality innovation & e-tourism
履修期間	3 <sup>rd</sup> term in 2 <sup>nd</sup> semester
単位数	6 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が3回
担当教授	PILONE Giorgio
授業内容	飲食業における経営・マネジメント戦略・現状
試験・課題等	筆記試験(選択問題)
感想を自由記入	イタリア・ヨーロッパでの飲食業を知ることができて興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Social Movement Studies	
科目設置学部・研究科	Philosophy, International and economic studies
履修期間	4 <sup>th</sup> term in 2 <sup>nd</sup> semester
単位数	6 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が3回
担当教授	MARCHETTI Sabrina
授業内容	社会問題の背景・原因・取り組み・関係性
試験・課題等	筆記試験
感想を自由記入	社会問題に対する意識が良い方向に変わった。学生が行う発表も刺激的だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to the Italian Language B; Forms, Structure, and Meanings	イタリア語
科目設置学部・研究科	SIE
履修期間	2nd Semester
単位数	6ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Gemmani Lucia
授業内容	イタリア語の文法をより詳しく解説
試験・課題等	期末の筆記試験
感想を自由記入	1学期と同様、イタリア語の授業とセットの講義授業。1学期よりも文法や音の説明で、イタリア語を学ぶ上で役立った。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
ONECARRER、リクナビ等
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
未定
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
現在夏のインターンシップに応募し始めました。帰国直前は何かと忙しく、就活をする余裕はなかったです。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	明治大学入学
	4月～7月	TOEFLの対策開始
	8月～9月	TOEFLスコアの取得
	10月～12月	協定留学の明治大学への応募開始・選考・面接
留学開始年	1月～3月	留学先決定
	4月～7月	イタリア語の勉強開始・航空券購入・住居探し・ビザ取得
	8月～9月	渡航・留学開始
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

私は留学するにあたって、国や場所にこだわりはありませんでした。高校生の時から大学在学中の留学を目標としていて、その理由として、視野を広げること、日本から出て異なる文化や考え方に出会いたい、時間がある今に様々な国に訪れてみたい、という気持ちがあったからです。その中でヴェネツィア大学を選んだ理由をあげるとするならば、ヨーロッパ内であること、英語開講の授業が多いこと、日本語学科が設けられており、交流の機会も多いこと、です。また、観光業に興味があり、ヴェネツィアが観光で有名な都市であり、大学に観光業の学部があることも魅力でした。

結果として、たくさんのイタリア人やその他の国の留学生と友達になり、視野を広げる、という目標は達成できたと思います。日本語学科の生徒や寮の学生など、日本に居たら出会うことのない人たちと出会い、英語、日本語、イタリア語でコミュニケーションをとりながら生活することは、とても貴重な経験でした。特に仲良くなった友達は何度も家に招待をしてくれて、イタリアの祝日を祝う体験もできました。イタリア人の国民性も文化も食べ物も好きになりました。イタリアでの生活やヨーロッパ各地への旅行を通じて、日本を客観的に見れるようになったことが、留学を経ての変化だと思います。日本がいかに安全で、便利で、住みやすい国であるのかを留学の10か月間で実感しました。異なる環境で過ごして初めて、自分がいた場所を客観的に見て、その良さに気付くことができると思います。

知らない国で半年、または一年過ごす、というのは想像できな部分が多く、希望を抱くと同時に不安もたくさんあると思います。しかし、実際に行ってみると1人ですべてを解決しなきゃいけないわけではないし、周りの人が助けてくれます。厳しい人がいるのと同時に、親切な人もたくさんいます。勇気を出して頼ることが大事だと思います。同じ日本人留学生との関係性も大切にすべきだと個人的には感じます。同じ立場で、悩みも似ているし、母国語で話せるというのは安心感を与えてくれました。留学準備から留学中、留学後まで大変なことは多いと思いますが、その分楽しいこと、学ぶことも多いです。頑張ってください。応援しています。